資料４

新ごみ処理施設整備に向けた取り組みについて（報告）

１．取り組み内容について

新ごみ処理施設整備につきましては、昨年 12 月の本審議会にてご報告したとおり、本市では、新ごみ処理施設整備に向けて検討を進めており、新ごみ処理施設の建設予定地は、広大な敷地が必要なことに加え、最終処分場が近い旧大久保清掃工場跡地（現クリーンセンター敷地内）が最善策であると考えているところです。

また、今年度の取り組みつきましては、12 月から４季に渡り、新ごみ処理施設の稼働による周辺地域への影響について、現況調査及び予測・分析を行う、生活環境影響調査を実施する予定です。

２　生活環境影響調査の概要

（１） 実施目的

新ごみ処理施設の稼働による周辺地域への影響を事前に調査し、その結果に基づいて、より良い施設計画を作り上げていくために実施いたします。

（２） 調査内容

現在の環境を把握するため、建設予定地の周辺において現地調査を実施し、更に、新ごみ処理施設の稼働によって生じる実際の生活環境への影響について、予測・分析を行います。

※ 調査項目：大気、騒音、振動、悪臭、気象、交通量

（３）事前説明会の開催

今年 10 月に周辺自治会を対象として、調査内容や調査地点などに関する事前説明会を開催し、周辺自治会の皆様にご理解を頂いたところです。

３　今後の取り組み

引き続き処理施設の規模や維持管理方式の検討などイニシャルコストやランニングコスト削減に向けた調査・研究及び耐震強化や環境学習設備など機能面についての検討を進めてまいります。

また、第 61 回環境審議会において申し上げました新ごみ処理施設にかかる「多くの市民に利用される多機能型施設についての検討」につきましては、引き続き本審議会のご意見・お知恵を拝借して参りたいと考えております。

以　上